

## 指定管理者評価シート

事業名	地域コミュニティ施設運営管理費	所管課(電話番号)	清田区市民部地域振興課 (889-2400)
-----	-----------------	-----------	------------------------

## I 基本情報

1 施設の概要			
名称	里塚・美しが丘地区センター	所在地	札幌市清田区里塚2条5丁目1-1
開設時期	平成20年4月1日	延床面積	1,302.91㎡
目的	地域住民のコミュニティ活動の助長及び生涯学習の普及振興を図り、もって地域住民の福祉の増進に寄与する。		
事業概要	(1) 各種講習会、講演会等の開催、体育、各種野外活動等のレクリエーション活動の推進、 その他必要な事業を行うこと。 (2) 一般の使用に供すること。		
主要施設	1階：多目的室、子育てサロン、まちづくりサロン 2階：視聴覚室、集会室1・2、実習室1・2、ラウンジ		
2 指定管理者			
名称	NPO法人ワーカーズコープ		
指定期間	平成30年(2018年)4月1日～令和5年(2023年)3月31日		
募集方法	非公募 非公募の場合、その理由：当センターが、地域社会に関係の深い団体によって継続的に管理運営されることにより、地域住民がまちづくり活動に直接参加する機会が作られ、地域住民自らがセンターの管理運営を通して把握された地域課題の解決に取り組むことによって、地域住民間の信頼関係が築かれ、地域社会における絆の強化につながる事となる。また、まちづくり活動の担い手の育成に寄与することも期待される。このようなことから、設置目的の実現のために、地縁による団体により設立された団体及び当該設立された団体を主な構成員とする団体並びに当センター等の管理運営に関わりを持つものと市長が認める地縁による団体の推薦を受けた団体により、現に良好な管理運営が行われている場合には、継続的に管理運営を行わせるために非公募としたもの。		
指定単位	施設数：1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由：		
業務の範囲	(1) 統括管理業務 (2) 施設・設備等の維持管理に関する業務 (3) 事業の計画及び実施に関する業務 (4) 施設の利用等に関する業務 (5) 前各号に掲げる業務に付随する業務		
3 評価単位	施設数：1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由：		

## II 令和3年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価								
1 業務の要求水準達成度											
(1) 統括管理業務	<p><b>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</b></p> <p>地区センターのテーマを『つながる』と掲げ、地域住民が主体者となり活動できるようにコーディネートし、地域の居場所として、人と人とのつながりの豊かさを大切に、『何かないと立ち寄りたくなる地区センター』を目指し、全員が『大きな声で挨拶をする』、『声かけをする』を心掛けて運営した。</p> <p>また、以下の4つの基本方針を掲げ、運営した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 思いやりの心を大切に、あたたかさとのつながりを豊かにする。</li> <li>2. 地域の課題や区民のニーズに即した事業を企画し、まちづくりを進める。</li> <li>3. ボランティアや地域の担い手を養成し、区民の主体的な地域活動を支援する。</li> <li>4. 個人とグループ、そして地域をつなぐネットワークを構築する。</li> </ol> <p><b>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</b></p> <p><b>▼ 貸室利用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「使用承認取り扱い要領」の遵守による運用の徹底</li> <li>・利用者に対する丁寧な説明。特に預かり確定時の、公平な処理、説明、連絡など</li> <li>・コロナウィルス感染予防のための変更の提案や、正確なキャンセル処理</li> </ul> <p><b>▼ 企画講座・交流事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種情報を得るツールによって不公平が生じないように、札幌市の広報誌・館内告知・ホームページやFacebook・Twitter等での告知内容や公開時期に配慮した。</li> <li>・1月より、利用が多いLINEの公式アカウントを取得し、今までつながっていなかった層へも、タイムリーな発信を心掛けた。</li> <li>・事業への参加申し込みは基本的には先着順で受付を行った。</li> </ul> <p><b>▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進</b></p> <p><b>▼ ロードヒーティングは日中はこまめに手動で操作し、夜間は天気予報を確認して設定、CO2の削減に配慮した。</b></p> <p><b>▼ 館内で使用する事務用品等は、グリーン商品の購入を心掛けた。</b></p> <p><b>▼ 今年度も、毎月開催している「さとみ食堂」の弁当容器を出来るだけ紙製で提供し、SDGsのプラスチック削減に努めた。</b></p> <p><b>▼ 効率的な印刷や、印刷物の再利用を心掛け、コピー用紙の削減を図った。また、輪転機も活用しインク代の削減を図った。</b></p> <p><b>▼ ペットボトルのキャップやリングブル・古切手等の回収やインクカートリッジの回収を実施、社協の回収事業に協力した。また、ごみ分別の徹底も行い、廃棄物の排出抑制を図った。</b></p>	<p>コロナ禍でも地区センターのテーマとして掲げている「つながる」を大切に、地域の方の豊かな生活やつながりのために、様々な地域の団体と連携して、基本方針に沿って様々な取り組みを実践した。</p> <p>LINEを始めるにあたり、登録キャンペーンを行い、公式LINEの周知を図った。</p> <p>先着順の事業申込は、申込初日で埋まることもあり、事業によっては、次年度は抽選も検討したい。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1326 304 1369 338">A</th> <th data-bbox="1369 304 1412 338">B</th> <th data-bbox="1412 304 1455 338">C</th> <th data-bbox="1455 304 1498 338">D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4" data-bbox="1326 338 1498 539">基本方針に基づき適正に実施されている。広報媒体の新規開拓など、利用者の利便性向上に優れた取組を実施した</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	基本方針に基づき適正に実施されている。広報媒体の新規開拓など、利用者の利便性向上に優れた取組を実施した			
A	B	C	D								
基本方針に基づき適正に実施されている。広報媒体の新規開拓など、利用者の利便性向上に優れた取組を実施した											

▼札幌市環境マネジメントシステムに則り、各種帳票を提出した。

▼未使用室の照明や冷暖房等の管理徹底と空調の効率的運転により、CO2排出量の削減を図った。

▼電気使用量

・今年度の一般電気使用量は、63,381Kwhで、令和2年度より5,439Kwh削減、前年比は約92%だった。

・ロードヒーティングの電気使用量は、降雪量がとても多い日が続き、降雪の多かった前年度をさらに上回り、前年比177%となった。床暖房は、コロナウィルスの感染予防のため、子育てサロンが中止となったため使用しなかった。

▼ガス使用量

・今年度の一般ガスの使用量は90㎡に留まり、休館や調理関連の利用が少なかったことで、前年比65%となった。

・空調設備のガス使用量も、前年11,9536㎡に対し、10,846㎡で前年比90%だった。

▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)

【組織・人員配置】

職種	配置部署	職務	雇用形態	数
館長	事務室	統括	常勤	1
副館長	事務室	事務・経理 館長補佐	常勤	1
事務(120H以上)	事務室	事務・図書	非常勤	3
事務(120H以下)	事務室	事務・図書	非常勤	5
清掃	全館	清掃	非常勤	3

▼4月1日より、館長が交代した。前館長も夜勤帯で引続き勤務している。

▼人員の入替えごとに、業務分担を見直し、連絡系統等を定めた。

▼1日の清掃人員の2人体制が定着し、今年度も重複した時間でより細かく消毒作業等を行った。

▼当初計画していた研修以外に、コロナ対策で各種オンライン研修が本部主催で開催され、該当職員が受講した。  
また外部団体で実施している普通救命講習にも参加した。

▼事務・経理・図書・清掃の研修は、適宜個別に行った。

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

▼利用者への対応の統一(公平性)を図るために、毎月職員全員で定例会議を実施し、話し合いを通して情報を確認、共有した。また、市やその他各方面からの情報なども、会議や朝礼・終礼などで確認し、議事録や日報などに記載、共有した。

▼通常業務で使用している様式を、職員全員がより正確に把握し遂行できるよう改善・見直しを図った。

協定書に準じて人員を配置した。

3.6協定を締結し、労働基準監督署に提出した。

体調が悪い職員や、家族の入院療養のため休職する職員には希望に沿って休んでもらい、全職員でシフトをカバーした。

### ▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

▼第三者委託の業務は以下の通り

- ①警備業務
- ②自家用電気工作物保安全管理業務
- ③エレベータ保安全管理業務
- ④自動ドア保安全管理業務
- ⑤ガスヒートポンプ保全業務
- ⑥消防設備保全業務
- ⑦除排雪業務
- ⑧定期清掃業務(定期清掃・高所窓・床ワックス)
- ⑨喫茶業務
- ⑩排煙オペレーター装置保守業務
- ⑪建築基準法定期点検業務
- ⑫札幌市地区センター予約システム運用業務

外注する業者は、清田区内の業者もしくは市内の業者を優先した。

仕様書の内容を遵守し、作業の際は、必ず館長もしくは職員が立ち会い、確認した。

### ▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

開催回	協議・報告内容
第1回 ※書面にて実施	①令和2年度事業報告 ②令和2年度利用者アンケート実施報告 ③令和3年度4月～6月の事業報告 ④令和3年度今後の事業予定
第2回 令和3年11月24日 18時45分～20時	①令和3年度7月～10月の貸室別利用状況及び収入等の報告 ②令和3年度7月～10月の講座・交流事業・憩の場づくり事業等の報告 ③今年度の事業計画について ④意見交換・その他
<b>&lt;協議会メンバー&gt;</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未来委員会 委員長</li> <li>・里塚・美しが丘地区福祉のまち推進センター 代表</li> <li>・里美ふれあいクラブ 代表</li> <li>・里美少年消防クラブ、さとづか幼稚園 理事長</li> <li>・三世代サロンつながる 代表</li> <li>・里塚・美しが丘地区町内会連合会 会長</li> <li>・札幌市清田区市民部地域振興課</li> <li>・里塚・美しが丘まちづくりセンター</li> <li>・里塚・美しが丘地区センター指定管理者(NPO法人ワーカーズコープ)</li> </ul>	

第1回は、資料を作成して各委員に送付し、書面会議とした。

第2回では、事業報告の後、参加委員の一人から次のようなご意見を頂いた。  
「自由に来られる施設は、清田ではここしかない。不登校生もここには来ている。ここは、子供が集まれる・来られる・心の支えになっている。  
開館当初から、みんなの「居場所」として使っているのがいい。これからもあたたかく皆で見守ろう。」  
地区センターの存在意義を改めて考えさせられた、貴重なご意見だった。

### ▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)

▼指定管理費についてはNPO法人ワーカーズコープ本部が受取り、各現場(地区センター)は、資金依頼により、必要経費の送金を受けて運営している。

▼本部は公認会計士による外部会計監査を導入している。

▼現金の取扱いについては、現金取扱規定を整備しており厳正に行っている。

▼利用料金は事務職員全員で慎重に取り扱った。(日勤、夜勤)

▼自主事業は別会計で厳正に管理した。

NPO法人ワーカーズコープが指定管理業務を行っている札幌市内のコミュニティ施設で共通の経理処理方法を採用、帳票類も使いやすいものに統一しており、スムーズに処理を行っている。

	<p>▼日勤から夜勤、夜勤から翌日の日勤へ、その日に発生した料金等に関する引継は確実にを行い、2重3重にチェックし、正確に処理する様心掛けた。</p> <p>▼現金の管理は毎日複数名で実施し、週に一度のペースで館長・経理担当者でチェックし、最終的には月末・半期ごと・年度末にも確認した。</p> <p>▼利用料金収入・講座の受講料収入がある場合は、必ず領収書を発行した。また、出来る限り翌日に銀行に入金するようにし、事務所には、必要な現金以外は現場に置かないように心掛けた。</p> <p>▼コロナウイルス対応による返金発生時は、返金に関する書類の作成にあたり、2重3重にチェックをして、利用者へスムーズにそして間違いなく返金ができるよう全員で対応した。</p> <p>▽ 要望・苦情対応</p> <p>▼利用者からの要望・苦情を受ける体制として、図書コーナー前に投書用紙『利用者の声』を置いている。</p> <p>▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)</p> <p>▼日常業務については、毎日、日報を作成、日勤担当者及び清掃担当者で、朝礼時に情報等の共有を図った。また、夕方は、夜勤担当者の出勤に合わせて、日勤担当者及び夜勤担当者で引継ぎを確実に実施し、情報の共有を日々実施した。</p> <p>▼今年度も、年度末に利用者アンケートを実施した。その結果は、スタッフ全員で共有し、指定管理者自己評価シートにも反映させた。また、全項目を掲載している評価シートは、過去3年間分を館内に設置し、公開している。</p> <p>▼講座開催の際にはアンケートを必ず実施し、その中で参加者の満足度・理解度・要望・意見等を聞き、講師と共有、次の事業の参考とした。</p> <p>▼札幌市に対する、報告類の提出は定められた形を遵守し、速やかに実施することを心掛けた。</p>	<p>事故防止の為、極力銀行引落とししている。</p> <p>今年度も、コロナウイルス感染防止のため、利用者が少なく、35日間に期間を延長してアンケートを実施した。</p> <p>実地検査については適切に対応し、指摘事項については、速やかに改善した。</p>									
<p>(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p>	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上(事故の有無などの安全衛生面を含む)</p> <p>▼施設で働く職員は、事務職員も清掃職員も同一時給とし、最低賃金は10月より890円となり、勤務年数3年以上の職員は経験手当として時給に15円加算した。</p> <p>▼施設で働く職員に時間外労働又は休日労働をさせる場合は、書面による労使協定(36協定)により必要な定めをし、労働基準監督署に届け出た。</p> <p>▼職員全員が労災保険に加入し、条件を満たす者は雇用保険にも加入した。</p> <p>▼職員の勤務形態や、家族状況等に応じて厚生年金や健康保険に適切に加入した。また必要に応じて適切に届出等を行った。</p> <p>▼雇い入れ時に、健康診断を実施した。</p> <p>▼120時間以上勤務する職員は、全員1年に1回、定期健康診断を実施した。また、短時間勤務の職員にも健康診断の受診を積極的に勧めた。また、インフルエンザの予防接種も、希望する職員全員に行った。</p> <p>▼労働基準監督署からの行政指導を受けなかった。</p> <p>▼多様な働き方・生き方の選択を可能にするためワークライフバランスの取組を推進した。</p>	<p>就業規則の見直しや、時給改定に伴う報酬等支給規程の変更の際には、速やかに労働基準監督署に届けた。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">法令遵守、雇用環境の維持向上に取り組んでいる。仕様書に定められているとおり適切に実施されている</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	法令遵守、雇用環境の維持向上に取り組んでいる。仕様書に定められているとおり適切に実施されている			
A	B	C	D								
法令遵守、雇用環境の維持向上に取り組んでいる。仕様書に定められているとおり適切に実施されている											

(3)施設・設備等の維持管理業務	▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)		A	B	C	D
	<p>▼利用者の安全確保のため、前年度に引き続き、コロナウィルス感染予防のための消毒用品などを各所に配置した。また、各種事業を開催の際は、更に感染対策に気を付け、人数を制限したり、検温・消毒・フェイスシールドの配布など、その都度適切な対策を講じた。</p> <p>また、利用者の安全を損なうことのないよう、施設内を職員がこまめにチェックしてまわり、環境整備を行った。施設外周についても、清掃スタッフや夜間スタッフが同様に見回りを実施した。</p> <p>▼子育てサロンは、幼児と若いお母さんと年配のボランティアスタッフという多世代の交流になるため、リスクを考慮して中止とした。その代わりに、オンラインサロンを夏から年末にかけて2回配信し、合計視聴数は300回を超えた。</p> <p>▼拾得物取扱いについては、金銭はその日のうちに交番に届け、利用者の忘れ物等については台帳で管理し一定期間保管、落とし主が現れた時に間違いのないように対応するなど、サービスの向上に努めた。</p> <p>▼連絡体制は、日常業務遂行上必要な連絡簿(外注委託業者等)を作成し、適宜迅速な連絡が取れる体制を敷いている。またスタッフ間での連絡体制(緊急連絡網)も確立している。</p> <p>▼損害賠償保険は、NPO法人ワーカーズコープとして「賠償責任保険」(人的保障一人につき1億円・一事故につき4億円をカバー)に札幌の全施設が加入している。</p> <p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <p>▼前述の12件の業務委託に関しては外注委託している。</p> <p>▼日常の備品管理・館内清掃・駐車場管理・建物周囲の管理は職員が担当した。</p> <p>▼今年度も、定期清掃の一部(全館床清掃)を障がい者の就労体験の場とし、B型の事業所へ業務を委託した。</p> <p>▼駐車場での事故はなかった。</p> <p>▼1階まちづくりセンターの会議室の天井の点検口に貼ってあった石膏ボードパネルが夜中に1カ所落下し、修理を依頼した。</p> <p>▽ 防災</p> <p>▼館内に入っている施設の職員と一緒に、自衛の消防訓練を10月と3月に実施し、消火器や発電機の使い方等も実際に確認した。</p>	<p>令和3年度は、利用者の安全に関わるような事態は発生しなかった。</p> <p>修繕業者と職員と一緒に館内の天井の点検口をすべて点検し、安全なことを確認した。</p> <p>消防訓練では、有事に備えて発電機を実際に動かし、使い方を確認した。</p>	<p>利用者の利便性や安全性に配慮されている。新型コロナウイルス感染拡大による施設の利用制限のため、事業の開催が困難であるなか、ただ中止にするのではなく、オンラインを活用した事業に変更するなど、工夫した取組がされている</p>			

(4)事業の計画・実施業務

## ▽ 学習機会の提供業務としての区民講座の開催

	令和3年度計画	令和3年度実績
種目	19	15
回数	42	34
人員	279	327

## ・個別事業内容

No.	開催した講座名	実施回数	目標人数	参加人数	達成率
1	サークル応援「ハク先生の韓国語入門講座」	4	8	21	263%
2	「冬休みこども工作講座」	1	8	16	200%
3	地域住民企画講座「天文講座」4回予定	2	16	26	163%
4	地域住民企画講座「おいしいスープカレー講座」	1	12	16	133%
5	サークル応援「キッズ・ヒップホップ講座」4回予定	2	8	10	125%
6	「手打ち蕎麦講座」	1	8	10	125%
7	地域住民企画講座「正しいラジオ体操講座」	1	13	16	123%
8	「簡単！包丁とぎ講座」	1	12	14	117%
9	「みんなの茶の間 オープンカレッジ」12回予定	8	96	111	116%
10	「小学生向けかんたんプログラミング講座」	1	4	4	100%
11	高齢者のためのいきいき健康講座4回予定	2	64	59	92%
12	地域住民企画講座「みんなで書き初め」	1	8	7	88%
13	認知症サポーター養成・フォローアップ講座	2	8	6	75%
14	サークル応援「キッズ・イングリッシュ講座」	3	8	5	63%
15	「秋のカーテニング講座」	2	10	6	60%
開催した講座の合計		32	283	327	116%

No.	中止した講座名	予定回数	目標人数	参加人数	達成率
1	サークル応援「背骨コンディショニング講座」	4	12		
2	「ルティック・ウォーキング講座」	1	8		
3	「速く走るコツ講座」	2	32		
4	「夏休みこども工作講座」	1	8		
中止した講座の合計		8	60		

## ▽ 地域住民の交流等を目的とした事業に関する業務

## ・実施内容

	令和3年度計画	令和3年度実績
種目	15	7
回数	25	16
人員	1,564	868

休館等で、計画より4講座の実施回数が少なくなった。

延期を重ねた講座もあったが中止にせず、何度も調整して開催した。

感染が落ち着いてきた秋以降に、料理や、子供向けの講座を複数企画し、参加が少人数のものもあったが、開催することが出来た。

延期後も調整が難しかった2講座と、延期自体が出来なかった2講座は中止となった。人気の「走るコツ講座」は、次年度に再び開催することとした。

A	B	C	D
各事業で開催に対する意気込みが強く感じられる。新型コロナウイルス感染拡大により、調整は困難を極めたと考えられるが、開催できた事業は参加人数も多く、利用者への多様な学習機会を適切に提供できたと認められる			

## ・個別事業内容

No.	開催した事業名	実施回数	目標人数	参加人数	達成率
1	さとみ食堂(12回予定)	8	256	632	247%
2	「土田英順チャリティー・チェロコンサート」	1	48	85	177%
3	「スポーツチャンバラ無料体験会」	2	16	26	163%
4	「桂三段 落語会」	1	40	50	125%
5	「スノーキャンドルナイト」	2	32	36	113%
6	「映画上映会」	1	16	16	100%
7	「さとみ歌の広場」	1	32	23	72%
開催した事業の合計		16	440	868	197%

No.	中止した事業名	予定回数	目標人数	参加人数	達成率
1	「夏のつながるフェスタ」	1	400		
2	「冬のつながるフェスタ」	1	320		
3	「つながるコンサート」	2	60		
4	「ミニミニふれあい芸術祭」	1	200		
5	「さとみ囲碁交流大会」	2	96		
6	「天体観察会」	1	24		
7	「防災体験会」	1	24		
中止した事業の合計		9	1,124		

コンサートや落語会、映画上映のほか、子供向けのスポーツ体験や、屋外でのイベントを開催した。

また、3月にはフェイスシールドを全員に配布して、歌声喫茶も開催し、参加者は目標の72%に留まったが、区内各地域から参加されとても喜ばれた。

サークルが日頃の練習の成果を発表することがメインのフェスタやコンサート、ワークショップ、囲碁の交流大会や、他校の小学生が交流するイベントなどは、残念ながら中止となった。

## ▽ 施設開放事業(無料)に関する業務

## 地域の憩いの場づくり施設活用事業(無料)

## ・実施内容

	令和3年度計画	令和3年度実績
種目	5	3
回数	333	29
人員	290	216

## ・個別事業内容

No.	種目	予定回数	予定人数	実施回数	目標者数	利用者数	開催分の達成率
1	ふれあい開放	102	1,020	7	70	6	9%
2	卓球開放	52	416	11	88	112	127%
3	ミニバレー開放	51	612	11	132	98	74%
4	みんなの茶の間「手芸サロン」	100	600	0	—	—	—
5	子育てサロン「カンガルーポッケ」	28	560	0	—	—	—
※参考	学習開放	適度	—	6	—	47	—
※参考	屋上広場開放	適度	—	—	—	—	—
計		333	3,208	29	290	216	74%

運動系は11～1月のみ対策を講じて開放を実施した。

中止が続いた子育てサロンは、ボランティアさんに手遊びやペープサート等の遊びを実演してもらい、職員が収録・編集して、「オンラインサロン」として2回配信した。第1弾は、280回、第2弾も130回を超える視聴があった。



## ▽ 図書業務(図書カウンター業務)

## ・利用状況

	令和2年度実績	令和3年度実績	対前年(率)
開館日数	264	214	81%
蔵書数	-	-	-
新規登録数	3	5	167%
利用者数	4,430	3,518	79%
貸出数	6,411	5,404	84%
返却数	7,779	6,521	84%
相互貸借件数	0	0	-
レファレンス件数	0	0	-

## ・利用促進事業

▼中央図書館からの宣材物の配架は、利用者の目に留まりやすいように図書カウンターの横に設置した。

▼毎月発刊の「地区センターニュース」に図書カウンターからのお知らせを掲載、ホームページでも紹介し利用を促した。

## ▽ コロナワクチン接種に関する相談業務

▼1階ラウンジにて、全館休館中の6月と7月に、ワクチン接種予約のインターネット代行ブースを設置し、高齢者を中心に、予約が取れずに困っている地域住民の予約代行を行った。職員はシフトを組んで交替で入り、地元のボランティア団体と協力して実施した。

▼接種の予約に関する、様々な疑問や問合せでの来館も多く、その都度、関係各所に問い合わせたり、ネットで調べるなど職員全員で対応した。

▼接種の予約代行希望者は、代行会場を閉めた後も続き、第3回接種開始の2月頃まで、事務所のパソコンで引続き対応し、地域住民へのサービスに努めた。

開館日数に比例して、利用者や、図書の処理冊数も少なかった。

サピカ利用の新規登録者など5件の新規登録を行った。

返却処理をより正確に行うために、年度の途中から2重にチェックした。

来館者は、最初は地域住民が多かったが、予約がスムーズに取れたことで、知人友人に紹介された他区の住民の来館も多かった。また、予約代行業務を実施したことで、札幌市より表彰された。

(5)施設利用に関する業務

## ▽ 利用件数等

		R2年度実績	R3年度計画	R3年度実績
多目的室	件数(件)	565	757	449
	人数(人)	8,291	18,440	7,933
	稼働率(%)	54.6%	64.4%	54.1%
集会室1	件数(件)	400	624	404
	人数(人)	1,760	4,187	1,872
	稼働率(%)	42.4%	58.4%	55.2%
集会室2	件数(件)	599	847	516
	人数(人)	3,707	8,177	3,304
	稼働率(%)	63.4%	79.4%	70.1%
実習室1	件数(件)	471	651	354
	人数(人)	3,160	5,225	2,626
	稼働率(%)	51.6%	60.3%	49.1%
実習室2	件数(件)	381	604	274
	人数(人)	2,042	4,800	1,461
	稼働率(%)	41.4%	57.0%	38.2%
視聴覚室	件数(件)	343	507	265
	人数(人)	3,513	7,823	3,021
	稼働率(%)	38.5%	47.9%	38.8%
※参考 屋上 多目的広場	件数(件)	7	0	0
	人数(人)	124	0	0
	稼働率(%)	-	0	0%
合計	件数(件)	2,759	3,990	2,262
	人数(人)	22,473	48,652	20,217
	稼働率(%)	48.6%	61.2%	50.9%

▽ 不承認0件、取消し0件、減免0件、還付4件＋コロナウイルス感染による返金102件 計106件

## ▽ 利用促進の取組

▼貸室の定期利用促進のため「サークル応援講座」を4講座企画したが、コロナで2講座が中止となった。開催できた韓国語講座と幼児の英語講座からは、新しいサークルが立ち上がった。

▼利用条件緩和措置の周知(時間貸し・営利・飲酒等)を今年度も行った。

▼営利利用は、ひと月前からの予約となるが、借り方の提案や比較的空いている時間の紹介等で新規の利用が増えた。

▼周辺施設の休館等に伴う新たな利用者、貸室や利用時間・曜日等について様々な提案を行い利用につなげた。

コロナ前の稼働率を目標にしたが、休館や制約が多く、令和2年度より2.3%増に留まった。

実習室の利用は、調理をするサークルさんが、今年度も利用を控えていることから、稼働率が低迷した。

また、内部会議・研修会などで利用する視聴覚室の利用も少なかった。

A	B	C	D
新型コロナウイルス感染拡大に伴う休館や様々な制限により、厳しい利用状況であったにも関わらず、令和2年度よりも稼働率を増加させたことは指定管理者が利用促進に努めた結果と思われる。要求水準の未達成については外部要因と認められる			

特に、韓国語講座は、3回延期後に席の間隔が広くとれる多目的室で開催し、サークルが立ち上がった。

		A	B	C	D
(6)付随業務	<b>▽ 広報業務</b> ▼ウェブアクセシビリティについては、11月1日～8日にJISの適合試験を受け、レベルAおよびAA 準拠をめざして全ページを改善した。取組確認・評価表については、令和4年3月25日にホームページ上に公開した。 ▼ホームページを、誰もが使いやすくわかりやすいように、読み上げ機能を搭載し、更新作業のたびに読み上げ原稿の入力作業を行った。 ▼ブログの配信をまめに行い、従来より活用しているFacebookやTwitterに加え、年齢を問わず利用者の多いLINEも開設し、より幅広い対象に情報を発信した。 ▼インターネットシステムによる貸室予約を平成20年6月より継続して実施した。 ▼地区センターニュースを毎月発行。センターの運営状況、区民講座や交流事業・開放事業を詳細に記載し、里塚・美しが丘地区及び平岡地区の町内回覧にて広報活動を継続した。 ▼毎月の行事予定をカレンダーにして印刷し受付で配布した。また、ホームページにもスマホ対応のカレンダーを掲載、常に最新の情報を公開した。 ▼子供対象の事業を開催の時には、近隣の小学校へチラシを配架して参加を促した。 ▼毎月発行の地区センターニュースや「広報さっぽろ」への掲載の他、「ふりっぱー」「ひろまる清田」など様々な媒体に情報掲載を積極的に依頼し、広範囲への広報活動に努めた。 ▼館内に入っているまちづくりセンターや里美町連や福祉のまち推進センターとは常に情報を共有し、共催で事業を行ったり、それぞれの広報誌で情報を掲載するなど連携を図った。	視覚障がい者や高齢者にとって、見やすくわかりやすいホームページの提供に努めた。  近隣の郵便局や、児童会館、体育館等にも配架し、広く情報を提供した。	体館やキャンセル料の取扱い変更により、HP更新などで難しい判断が多々あったが適切に更新が行われた。HP以外の情報配信においても、新しい方法を活用し、幅広い年代を対象に情報を発信する工夫などはサービス向上につながったと認められる		
	<b>▽ 引継ぎ業務</b> (前回から継続指定のため、引継業務なし)				
2 自主事業その他					
(6)付随業務	<b>▽ 自主事業</b> ▼平成23年4月から札幌市と委託契約を結び、古紙回収ボックスの管理を引き続き行った。 ・古紙回収実績 ・収入 4～3月 市奨励金 6,800円(前年度より2,800円減) 事業収入 4,670円(前年度より2,750円減) ・支出 29,800円(館内フリーWi-Fi開設用ルーター等機器設置代)	古紙の持込みが年々減少傾向にあり、今年度も激減したが、利用者の利便性の向上を考慮し、フリーWi-Fiの開設に向けて、機器を購入、利用者還元を実施した。	市内企業の活用、福祉施設への配慮、ともに実施されている。喫茶コーナーの運営にも取り組んでいる。		

## ▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等

## ①市内企業等の活用

▼夜間警備業務、除排雪業務、電気設備点検、防火設備点検、空調・建築設備点検等は、市内および区内の業者へ委託した。

## ②福祉施設への配慮

▼1階喫茶コーナーは、地元里塚の上保木青果店に運営が変わり、就労支援の場として開始したが、休館やコロナの感染予防のため、1年を通して休業となり今年度で撤退した。

▼今年度も、定期清掃3回実施のうち1回を就労継続支援B型事業所と業務委託契約を結び、障がい者の就労体験の場として支援・協力した。

▼1階と2階にそれぞれ飲み物の自動販売機を設置し、利用者が購入することによって市内の福祉団体の収入になっている。

業務委託先は、区内の業者または、市内の業者に委託した。

喫茶コーナーは、障がい者施設での運営が難しく、次年度より、地域住民が当事者として運営に携わる「コミュニティカフェ」の運営を検討している。

## 3 利用者の満足度

## ▽ 利用者アンケートの結果

実施方法	実施期間: 令和3年2月7日～3月14日 来館者を対象に手渡しで配布して実施 (回収部数: 226部)																																									
結果概要	<b>Q1 年代について</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>回答数</th> <th>構成比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学生</td> <td>19</td> <td>8%</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>7</td> <td>3%</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td>1</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>学生(大学・短大・専門学校)</td> <td>1</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>226</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>回答数</th> <th>構成比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>～20代</td> <td>3</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>30～40代</td> <td>31</td> <td>14%</td> </tr> <tr> <td>50～60代</td> <td>88</td> <td>39%</td> </tr> <tr> <td>70代以上</td> <td>76</td> <td>34%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>0</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>226</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>				回答数	構成比	小学生	19	8%	中学生	7	3%	高校生	1	0%	学生(大学・短大・専門学校)	1	0%		226	100%		回答数	構成比	～20代	3	1%	30～40代	31	14%	50～60代	88	39%	70代以上	76	34%	無回答	0	0%		226	100%
	回答数	構成比																																								
小学生	19	8%																																								
中学生	7	3%																																								
高校生	1	0%																																								
学生(大学・短大・専門学校)	1	0%																																								
	226	100%																																								
	回答数	構成比																																								
～20代	3	1%																																								
30～40代	31	14%																																								
50～60代	88	39%																																								
70代以上	76	34%																																								
無回答	0	0%																																								
	226	100%																																								
	<b>【ご利用 貸室について】</b> <b>Q2 ご利用目的は何ですか? (複数回答)</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>回答数</th> <th>構成比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サークル利用</td> <td>154</td> <td>64%</td> </tr> <tr> <td>会議・研修・勉強会など</td> <td>49</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>講座・交流事業に参加</td> <td>22</td> <td>9%</td> </tr> <tr> <td>無料開放</td> <td>1</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>フリースペース利用</td> <td>2</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>朝のラジオ体操会参加</td> <td>1</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>その他回答含む</td> <td>7</td> <td>3%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>6</td> <td>3%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>242</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>				回答数	構成比	サークル利用	154	64%	会議・研修・勉強会など	49	20%	講座・交流事業に参加	22	9%	無料開放	1	0%	フリースペース利用	2	1%	朝のラジオ体操会参加	1	0%	その他回答含む	7	3%	無回答	6	3%		242	100%									
	回答数	構成比																																								
サークル利用	154	64%																																								
会議・研修・勉強会など	49	20%																																								
講座・交流事業に参加	22	9%																																								
無料開放	1	0%																																								
フリースペース利用	2	1%																																								
朝のラジオ体操会参加	1	0%																																								
その他回答含む	7	3%																																								
無回答	6	3%																																								
	242	100%																																								
	<b>Q3 ご利用頻度は?</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>回答数</th> <th>構成比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>週1回以上</td> <td>77</td> <td>34%</td> </tr> <tr> <td>月2～3回</td> <td>79</td> <td>35%</td> </tr> <tr> <td>月に1回</td> <td>51</td> <td>23%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>18</td> <td>8%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>1</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>226</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>				回答数	構成比	週1回以上	77	34%	月2～3回	79	35%	月に1回	51	23%	その他	18	8%	無回答	1	0%		226	100%																		
	回答数	構成比																																								
週1回以上	77	34%																																								
月2～3回	79	35%																																								
月に1回	51	23%																																								
その他	18	8%																																								
無回答	1	0%																																								
	226	100%																																								

今年度も、ジェンダーに関する多様性に配慮し、性別を聞く設問は掲載しなかった。

A	B	C	D

全体的に高評価。ただ、貸室利用のアンケートで次の利用について回答欄に「どちらでもない」があると、判断が難しい。より良い実施方法について検討が必要と考える。例えば「どちらかといえば利用したくない」などにすると、判断が容易になるのでは。以前より利用者からの要望が強かったWi-Fi導入に取り組むなど、施設の特徴を最大限活用して利便性向上に優れた取組を実施した。

**Q4 主な来館手段は？（複数回答あり）**

	回答数	構成比
自家用車	181	76%
徒歩	42	18%
公共交通機関	8	3%
自転車	1	0%
無回答	5	2%
	237	100%

**Q5 また貸室をご利用いただけますか？**

	回答数	構成比
ぜひ利用したい	17	8%
利用したい	12	5%
どちらかといえば利用したい	56	25%
どちらでもない	123	54%
利用したくない	0	0%
無回答	18	8%
	226	100%

**【区民講座 交流事業について】****Q6 地区センターで主催する「区民講座」「地域交流事業」を実施していることはご存じでしたか？**

	回答数	構成比
知っている	91	40%
知らない	53	24%
参加したことがある	79	35%
無回答	3	1%
	226	100%

**Q7 Q6で『参加したことがある』に○を付けた方は、参加された「区民講座」「地域交流事業」の内容はいかがでしたか？**

	回答数	構成比
満足	39	49%
やや満足	26	33%
普通	14	18%
やや不満	0	0%
不満	0	0%
無回答	0	0%
	79	100%

**Q8 Q6で『知っている』『参加したことがある』に○を付けた方は、何でお知りになりましたか？（複数回答可）**

	回答数	構成比
広報さっぽろ	79	35%
館内チラシ	62	27%
地区センターニュース	31	14%
町内会の回覧	38	17%
ホームページ	4	2%
地域メディア	2	1%
地区センターSNS	6	3%
その他	4	2%
(無回答)	72	
	226	100%

様々な媒体での告知や、掲示の工夫等で事業の実施を知らないという回答の構成比が、前年の46%から24%に減った。

コロナ禍での開催のため、参加者にもご協力頂くことも多かったが、概ね高評価を頂いた。

## 【図書カウンターについて】

Q9 図書カウンターを利用されたことがありますか？

	回答数	構成比
ある	31	14%
ない	174	77%
無回答	21	9%
	226	100%

今年度の図書利用者は、3518名だった。  
図書を利用したことのあると回答した方の構成比は、前年度の7%から少しアップした。

Q10 図書カウンターや図書検索機の利用回数は？  
(Q9で『ある』と答えた方のみ)

	回答数	構成比
1回のみ	6	19%
月1回	3	10%
月に2～3回	4	13%
その他	14	45%
無回答	4	13%
	31	100%

Q11 図書に関する職員の接客態度はいかがでしょう？

	回答数	構成比
良い	17	55%
やや良い	7	22%
普通	3	10%
やや悪い	0	0%
悪い	0	0%
無回答	4	13%
	31	100%

図書カウンター業務は、全職員が、迅速で正確な対応を心掛けた。

Q12 また図書カウンターをご利用いただけますか？

	回答数	構成比
ぜひ利用したい	1	3%
利用したい	6	19%
どちらかといえば利用したい	3	10%
どちらでもない	17	55%
利用したくない	0	0%
無回答	4	13%
	31	100%

## 【清掃・館内の施設・職員について】

Q13 館内全般の清掃状態はいかがでしょう？

	回答数	構成比
良い	171	76%
やや良い	30	13%
普通	4	2%
やや悪い	0	0%
悪い	0	0%
無回答	21	9%
	226	100%

コロナ感染防止対策のための消毒作業が続いているが、清掃職員を始め日中や夜勤の職員も、随時館内美化と同時に換気や消毒作業を行った。

## Q14 館内全般の備品や設備等の管理はいかがでしょう？

	回答数	構成比
良い	153	68%
やや良い	38	17%
普通	9	4%
やや悪い	2	1%
悪い	0	0%
無回答	24	11%
	226	100%

前年度より実施している、実習室の備え付けスリッパの、利用ごとの消毒を今年度も実施した。また、利用者には、マイスリッパの持参に協力してもらった。

## 【地区センターの職員について】

## Q15 職員の言葉づかいや態度・受付業務はいかがでしょう？

	回答数	構成比
良い	172	76%
やや良い	30	13%
普通	4	2%
やや悪い	0	0%
悪い	0	0%
無回答	20	9%
	226	100%

「良い」と回答した方の構成比が、前年度より12%アップした。

## 【総合評価】

## Q16 また里塚・美しが丘地区センターを利用したいと思いますか？

	回答数	構成比
ぜひ利用したい	146	65%
利用したい	49	22%
どちらかといえば利用したい	3	1%
どちらでもない	7	3%
利用したくない	0	0%
無回答	21	9%
	226	100%

## Q17 里塚・美しが丘地区センター全体の評価(満足度)はいかがでしょう？

	回答数	構成比
良い	167	74%
やや良い	33	15%
普通	3	1%
やや悪い	1	0%
悪い	0	0%
無回答	22	10%
	226	100%

前年度に続き、今年度も、概ね高評価を頂いた。今後も、利用者の視点に立ち、更に満足して頂けるような運営を心掛けたい。

利用者からの意見・要望とその対応

【備品・設備】

Wi-Fiをもっと使いやすくしてほしい  
ホウキ・チリトリが使いづらいついかな？  
やはりゴミ箱が欲しいです

【施設について】

いつも清潔で安心して利用させて頂いております。  
早くフリースペースを使用したい。  
前回は今回も部屋が寒いので、もう少し暖かくしてほしいです。  
2階のトイレのウォシュレットが冷水が出てくるときがあつてびっくりすることがあります。  
ガスコンロ直してください。  
非常に利用しやすい施設であると思います。

【職員について】

がんばれ～！！  
職員の方の感じが良くいつも気持ち良く利用させて頂いております。  
とても明るくて感じが良いですよ。いつもありがとうございます。  
清田老人福祉センターと比べると、職員の対応がとても良いです！

【その他】

コロナが収まり次第、もう少し映画とが演奏会をやってほしいです。  
利用させて頂きありがとうございます。良い地区センター、良い人達に感謝しております。  
楽しくさせて頂いています。  
いつも気持ち良く利用させて頂いています！ありがとうございます。  
みなさん笑顔あり、気持ちよく利用しています。  
ぜひ、多く参加させて下さい。いつもありがとうございます。  
いつもありがとうございます。(2件)

令和4年度より、利用者から要望が多かったフリーWi-Fiの本格導入を決め、Wi-Fi機器等の整備を順次進めた。

今年度、コロナ禍で開催してきた事業の一つ一つで、構築してきた安全対策や工夫してきたことを踏まえ、次年度も前向きに事業を開催し、地域住民の要望に応えたい。

4 収支状況

▽ 収支

(千円)

項目	R3年度計画	R3年度決算	差(決算-計画)
収入	28,707	29,172	465
指定管理業務収入	28,685	29,161	476
指定管理費	23,353	23,353	0
利用料金	4,726	3,248	▲ 1,478
その他	606	2,560	1,954
自主事業収入	22	11	▲ 11
支出	28,594	29,030	436
指定管理業務支出	28,594	29,030	436
自主事業支出			0
収入-支出	113	142	29
自主事業による利益還元	30	29	▲ 1
法人税等	80	80	0
純利益	3	33	30

【参考】

	R3年度決算	内容
指定管理業務による利益還元	302	下記のとおり

A	B	C	D
ほぼ計画通りの収支状況。利益還元についてもほぼ例年どおり。			



<p>▽ 説明</p> <p>◆利用料金収入は、前年度同様、コロナウィルス感染拡大で、キャンセルや休館が続いたが、最終的には計画より30千円増で着地した。</p> <p>◆その他収入の中で決算欄には、講座・交流事業などの収入以外に利用料金の補填額も含めたため、1,954千円の増額となった。補填額を除いたその他収入は359千円で、コロナ対策による事業の中止が続いた前年度の191千円よりは回復した。</p> <p>◆自主事業収入は、前年度18千円から11千円と減額となったが、館内全館でWi-Fiが利用できる環境を整備するため、ルーター等、開館当初からの機器の交換費用を支出した。これにより、1月からフリーWi-Fiの使用が可能になり、利用者の利便性が飛躍的に向上した。</p> <p>◆指定管理業務からの利益還元318千円については、毎年支出しているコンサート経費やラウンジ用雑誌購入などに16千円を充当した。</p> <p>単年度としては、経年劣化による機器の故障が増え、給湯・トイレタンク・多目的室クレセント錠・前庭の散水栓・排煙装置・エレベータの修繕費として254千円を支出した。</p> <p>また、利用者の安全確保のため、コロナ対策費として30千円を支出し、消毒用資材等を購入した。</p> <p>他にも、地域還元で購入したWi-Fi機器の取付代や、ネット環境の高速化のためハブを購入し16千円を支出した。</p>	
---	--

<確認項目> ※評価項目ではありません。				
<p>▽ 安定経営能力の維持</p> <p>▼当団体は全国に拠点を持つ協同経営の組織であり、単独の事業所・現場の経営だけでなく、相互に安定経営を維持するために、コロナ禍でもオンライン等を活用し連携して改善を図っている。</p>		<table border="1"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">適</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">不適</td> </tr> </table>	適	不適
適	不適			
<p>▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応</p> <p>▼使用承認書・団体登録書・受講申込書・無料開放参加登録書等の個人情報のファイル等はロッカーに施錠して保管。</p> <p>▼情報公開についてはNPO法人ワーカーズコープが定める規定に則って、要求が有れば対応出来る体制にある。</p> <p>▼協定に関する契約(第三者への委託、物品調達等)について、暴力団員や暴力団関係事業者を相手に契約を行わなかった。</p>		<table border="1"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">適</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">不適</td> </tr> </table>	適	不適
適	不適			

### Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p>コロナ禍にあって、何ができるか、どうしたらできるかを常に考え運営した。</p> <p>◆新型コロナの感染拡大により利用率は、昨年度43.5%に留まったが、今年度は、50.9%となり、7.4%改善した。</p> <p>◆今年度も、1・2階のフリースペースは、席数を減らし、フェンスで席を仕切ったり、消毒セットを常備したり、利用カードの記入をお願いし、感染対策と同時に万が一の時に感染ルートが追えるような体制をとりながら利用してもらい、学生の自習の場等を確保した。</p> <p>◆講座や交流事業は、休館が続いた春先はもとより、秋口まで実施できないものが多かったが、中止ではなく、出来る物は何度も延期を重ね、感染が少し落ち着いた秋以降に、規模に合わせて大きな部屋に変更したり内容自体を見直して実施した。また、子供が楽しむお祭りのイベントなどが実施できなかったことで、感染が少し落ち着いた冬休み以降に新規も含めて子供向けの事業を複数実施し、参加者や父兄に喜ばれた。</p> <p>◆「さとみ食堂」は、必要な人に食事を届けたいという思いから、調理ボランティアの協力を得て、休館以外はテイクアウトで継続した。また、こども食堂ネットワークやJA、地元の団体や個人の方からの協力にも支えられた。継続することにより、利用者の中には、近所のひとり親世帯の子供や、1人暮らしの高齢者にお弁当を届けてくれる方も出てきた。地区センターでも、職員2名が「食品衛生管理者」を取得するなどスキルアップを図った。</p> <p>◆「子育てサロン」が感染予防のため中止が続く中、ボランティアさんと協力して、初めて「オンラインサロン」の動画を作成し配信した。地域の親子のために配信したが、撮影するために打合せを重ねて実演したボランティアさんにとっても、久しぶりの活躍の場となった。</p>	<p>◆次年度も、交流事業や区民講座などを、安全安心な環境のもとで開催できるように努めるとともに、更に、地域の方が主体的に活躍できるような場面を積極的に創造する。</p> <p>◆SDGsの取り組みの中から、健康や福祉への配慮や、住み続けられるまちづくり、ジェンダー平等の実現を始め、身近な問題としてプラゴミの削減など、地区センターとして取り組める項目を積極的に推進する。</p> <p>◆次年度も、本当に困っている家庭に「毎月やっているから来てね」というメッセージが届くように、「さとみ食堂」を出来る限り開催する。</p> <p>◆従来からの紙ベース告知の継続と同時に、多世代・広範囲へ発信するツールとしてのホームページ・ブログ・フェイスブック・ツイッターと、新たに開設したLINEをフルに活用する。</p> <p>◆職員間の連携を日頃より密にしつつ、ひとりひとりが働きやすい環境を整える。また、仕事に対する意識やスキルの向上を図り、利用者へのサービス向上に努める。</p>

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響を常に受けながらの管理運営。常日頃から利用者の安全を考慮したうえで、開催可能な事業について検討していた。地元住民ボランティアからの信頼が厚く、各事業において多大な支援を頂いているのは、アンケート結果にもあるように、地区センター職員の接遇スキルの高さの結果であると考え。設置目的に見合った大変適切な管理運営であったと評価する。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の対策は継続していただき、今後も利用者や地元住民と積極的に関わりを持つことで、信頼される地区センターとしての地位を築いていただきたい。</p>